

2024年3月18日

見附天使幼稚園

園長池山奈穂子

2023年度 教職員自己評価(所見)のまとめ

年度初めに個々に目標を設定し、前期、後期に振り返りをしました。新たに見えてきた課題など教育・保育の質向上に向けて全教職員で研鑽していきたいと思えます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

NO	評価項目	所見	これからの課題
①	保育の計画	<ul style="list-style-type: none">・園の全体の計画に基づいて今年度の指針を共通理解し、保育実践を行った。・子どもがワクワク、ウキウキするような活動内容を考えた。・四季を心と身体で感じる立案計画が園行事に追われると省かれることがあった。	<ul style="list-style-type: none">・各年齢の成長発達を理解して子どもひとり一人が生き生きと意欲的に活動できる内容を盛り込んでいく。・小学校までに育てたい10の姿の再確認をする。
②	保育のあり方 幼児の対応	<ul style="list-style-type: none">・園児の安心・安全な環境を設定し日々の動きを確認しながら保育にあたった。・毎朝の健康視診を丁寧に行うようにした。・子どもの成長を観察し共有して関わった。	<ul style="list-style-type: none">・子ども自らの発想を取り入れ、新たな内容、活動時間の見直しを行う。・子どもひとり一人に対応できるスキルを身につける。
③	保育者の 資質・能力	<ul style="list-style-type: none">・保育者の共通理解を図り、偏りにない観方をするように努めた。・自分の仕事に対して自覚と責任をもつ。また、不適切な対応があった場合は、それを検証、共有し再発防止に努めた。・自分の意見をはっきりと伝え、他の職員の意見にも耳を傾ける	<ul style="list-style-type: none">・乳児部、幼稚園部で全体が滑らかに意思疎通できる環境にする。・責任感のある保育者であるよう自己研鑽に励む(服装、立ち振る舞い、言動)。・子どもひとり一人の思いを洞察できる能力を身につける。・気持ちをいつも平らに維持する。
④	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none">・保護者が気軽に相談できるような和やかな雰囲気を作り出す努力をした。・保護者との信頼構築に努め、また、ご意見が貴重なものとして全教職員で共有した。・質問等に対し正確、迅速に返事をした。	<ul style="list-style-type: none">・保護者からの意見は真摯に受け止め協力しあっていく。・園に対する不信感を招かないよう丁寧な対応をする。・申し入れや相談に的確に対応できるよう能力を高める。
⑤	地域・自然・ 社会との関わり	<ul style="list-style-type: none">・毎年の課題である地域の方々との交流が弱いと感じる。・屋外活動の時間確保や市内散策(自然・食等)や社会見学に努めた。・季節感を感じる保育、生き物に対する生命尊重等に力を入れたい。	<ul style="list-style-type: none">・“地域で育つ”をモットーにもっと外に視野を広げた保育を実践する。・食育活動の一環で野菜や稲を育てているが継続した手入れや収穫ができるようになる。・小学校との連携を密にしていく。
⑥	研修と研究	<ul style="list-style-type: none">・資質向上のための研修が増えてきたが保育ニーズの多様化で派遣できる教職員が限定された。・研修レポートにまとめ教職員で共有した。・特性のある子どもとの関わり方など専門講師から学んだり行政と連携を図った。	<ul style="list-style-type: none">・園内研修の充実を図っていく。・保育実践だけでなく一般教養も深められるようにする。・モンテッソーリ教育の理論、教材研究の定着を図る。